

## 平成 29 年度横浜市病院協会事業報告

### 1 救急医療対策(公益事業)

- (1) 二次救急の拠点病院方式を中心とした横浜市救急医療体制に基づき、引き続き当協会及び会員病院は救急医療の提供に積極的に取り組んだ。

二次救急医療に対応する各病院の構成区分は、拠点病院Aが11病院、拠点病院Bが13病院、合わせて24病院、輪番参加病院数は27病院となっている。

加えて、病院協会として二次輪番応需（内科・外科・小児科）の必要な調整、とりまとめを行い、救急実績を集約して市に報告した。

(年度計)

拠点病院A : 138,979 人 (前年度 140,333 人)

拠点病院B : 91,624 人 (前年度 96,110 人)

輪番病院 : 5,702 人 (前年度 6,334 人)

小児救急拠点病院 : 32,358 人 (前年度 31,888 人)

- (2) 心疾患、脳血管疾患、産科、整形外科等の救急医療に取り組んだ。
- (3) 「横浜市救急医療検討委員会」に参画し、高齢者の救急医療における課題の検討について論議した。

### 2 災害時医療対策(公益事業)

- (1) 横浜市災害医療連絡会議に参画し、市と協会が協働して災害時医療に対応する体制確保を図った。
- (2) 各区に設置された災害医療連絡会議に会員病院が参加し、協議及び意見交換を行った。
- (3) 横浜市病院協会として、横浜市防災会議のメンバーに加わり横浜市における防災上の課題解決に、ともに取り組んだ。

### 3 医療情報の収集、発信及び広報(公益事業)

- (1) 協会のホームページ「ヨコハマ医療の扉」の効果的、円滑な運用に努めた。

[ホームページ運用状況]

ホームページアクセス数 : 134,237 件 (367 件/日)

- 時間外診療受付病院診療所アクセス数：23,149件（63件/日）
- (2) 市民の利便性を考慮し、各種案内機能の更新及び医療機関向け情報をホームページに掲載した。また、「産科医療機関のご案内」を適宜更新するとともに「求人情報」の掲出によって、会員病院の便宜を図った。
  - (3) 医療・保健・福祉に関する情報を随時、会員病院に提供した。

#### 4 地域医療連携の推進(公益事業)

- (1) ホームページ等の活用を通じ、会員病院の運営効率化のサポートに努めるとともに、医師会など医療関係団体との連携を強化する等、地域医療体制の充実向上を図った。
- (2) 横浜市在宅療養連携推進協議会に参画し、病院と在宅療養の連携強化策の検討を行った。
- (3) 横浜市ICTを活用した地域医療連携ネットワーク研究会に参加し、研究・検討を進めた。
- (4) 地域医療構想調整会議を踏まえた横浜地域における連携協議の主体的な取組を進めた

#### 5 行政、医療機関団体等との連携強化及び政策提言(公益事業)

- (1) 平成29年8月28日付で平成30度横浜市予算編成についての要望書を提出した。
- (2) 「横浜市保健医療協議会」に参画し、医療行政に対して必要な提言や要望を行った。
- (3) 横浜地域地域医療構想調整会議に委員4人が参加し、協会としての意見の反映に努めた。
- (4) 「横浜市医療安全推進協議会」に参画し、横浜市の医療安全窓口との連携強化を図った。
- (5) 「横浜市認知症施策検討会」に参画し、認知症の早期発見・早期対応について検討した。
- (6) 「横浜市新型インフルエンザ等対策医療関係者連絡協議会」に参画し、必要な提言や要望を行った。
- (7) 神奈川県の実情に応じて「ライフイノベーション地域協議会」に参加した。
- (8) 横浜市医師会の地域医療事業部会、医療福祉事業部会、勤務医事業部会において議論に加わるとともに、各夜間急病センター運営委員会に参画し、地域医療向上に向けた研究、検討を行った。

- (9) 県立病院機構、市立大学病院等公的病院の運営に係る委員会・幹事会に参加した。

## 6 学術研究、講演会及び研修会開催(公益事業)

- (1) 第19回学術講演会を平成30年2月20日(火)に開催した。  
テーマ：「平成30年度診療・介護報酬同時改定を踏まえた  
病院経営戦略について」  
講師：株式会社川原経営総合センター コンサルタント  
布施 修一 氏  
参加者：150人
- (2) 市民講演会を平成29年10月3日(火)に開催した。  
テーマ「今日から始める認知症予防」  
講師：医療法人社団緑成会 横浜総合病院  
臨床研究センター長 長田 乾 氏  
参加者：270人
- (3) 横浜市、横浜市医師会等との共催による「医療安全研修会」を  
年3回実施した。

## 7 医療従事者の確保、定着促進(公益事業)

- (1) 平成29年4月21日に看護専門学校において、奨学金等受け  
入れ希望病院説明会を開催した。(33会員病院参加)
- (2) 当協会ホームページに常時「市内医療機関求人情報」を掲載し  
た。  
市内医療機関求人情報へのアクセス数 1,957件(5件/日)

## 8 看護専門学校の運営

### (1) 学 生 数

(単位：人)

学 生	在籍者数 (H29年4月1日)	退学者数	原級 留置者数	進級又は卒業生 (H30年3月末)
1学年	86 ( 5)	2 (0)	2 (0)	82 ( 5)
2学年	75 (10)	2 (0)	4 (0)	69 (10)
3学年	77 ( 7)	1 (0)	1 (0)	卒業生75 ( 7)
総 数	238 (22)	5 (0)	7 (0)	226 (22)

( ) 内は内数で男性数

### (2) 平成30年度入学者試験結果

(単位：人)

受験区分		試験日	受験者	合格者	入学者	
特別 入試	高校生	指定校	H29年10月21日	6	6	6
		公募制	H29年10月21日	11	11	11
	学 士		H29年10月21日	1	1	1
	社会人		H29年10月21日	46	24	24
一般 入試	第Ⅰ期		H29年12月3日	38	30	21
	第Ⅱ期		H30年 3月 8日	9	6	5
	第Ⅲ期		H30年 3月 21日	8	6	6
計			119	84	74	

### (3) 第21回卒業生(平成30年3月卒業)の就職状況

(単位：人)

病院への就職		進 学	その他	卒業生合計
横浜市内	横浜市外			
69	1	2	3	75

(4) 第107回国家試験受験結果  
(試験日:平成30年2月18日、合格発表:同年3月26日)

(単位:人)

区分	受験者数	合格者数	合格率	参考) 全国平均
新卒者	75	74	98.7%	96.3%
既卒者	4	4	100.0%	44.5%
合計	79	78	98.7%	91.0%

(5) 主な学校行事

平成29年4月7日 第23回入学式(入学生80人)

6月6日 第1回学校説明会(参加者27人)

7月11日 第2回学校説明会(参加者32人)

8月1日 学校説明会・一日看護体験(参加者80人)

9月5日 第3回学校説明会(参加者45人)

10月5日 看護学生のつどい

10月21日 特別入学試験 合格発表:10月26日

11月10日 第23回戴帽式

12月3日 第I期入学試験 合格発表:12月7日

平成30年2月27日 特別講演を開催した。

テーマ:「がんサバイバー」として生きるとは  
～人生を笑顔で生きていくために～

講師:Japan for LIVESTRONG代表 彦井 浩孝氏

Japan for LIVESTRONGリーダー 牧野 かおり氏

参加者:289人

3月2日 第21回卒業式(卒業生75人)

3月8日 第II期入学試験 合格発表:3月13日

3月21日 第III期入学試験 合格発表:3月22日

## (6) 学生募集の取組

- ア 平成29年5月19日に高校進路指導教諭を対象に学校説明会を開催した。(参加高校10校)
- イ 推薦入試に向けて、指定校及び一般校の高校訪問を行った。
- ウ 6月から9月に学校説明会を4回開催し、学校施設見学、教育内容の説明、進学相談を行った。
- エ 進路情報会社・看護系予備校主催の進路説明会に参加し、学校説明を行った。
- オ 本校ホームページによる学校情報の発信を行った。

## (7) 看護師国家試験対策

- ア 早期からの看護師国家試験模擬試験を実施した。(3年生10回、1、2年生各1回 計12回)
- イ 看護医療系学校受験対策の専門講師による学内補講を12回実施した。
- ウ 学力強化が必要な学生を対象に予備校講座の活用や学内教員ゼミを実施した。
- エ 既卒受験者への個別相談や国家試験対策の指導を行った。
- オ 教員の国家試験対策力を向上させるため、国家試験対策セミナーを受講した。

## (8) 会議・委員会・研修会

- ア 学校運営会議を12回開催した。
- イ 職員会議を12回開催した。
- ウ 講師会議を平成30年3月22日に開催した。
- エ 実習施設連絡会議を平成30年3月23日に開催した。
- オ 入試委員会を12回開催した。
- カ 学校評価委員会を7回開催した。
- キ 防火・防災対策委員会を3回開催した。
- ク その他にカリキュラム委員会、実習委員会、学生指導委員会を開催した。

ケ 実習指導者夏期研修会を平成29年8月22日に開催した。

## 9 収益事業(収益事業等)

- (1) 看護職者賠償保険の取りまとめを行った。  
(64 病院 ; 延 3,415 人)
- (2) 看護専門学校隣接駐車場の管理運営を行った。
- (3) 看護専門学校過去入試問題集の販売を行った。
- (4) 横浜スタジアム医務室の診療受託事業を実施した。

## 10 医療従事者の顕彰、福利厚生の実施(収益事業等)

- (1) 随時、会員の慶弔に協会として対応した。
- (2) 会員の親睦に係る懇親会、新年祝賀会を開催した。
- (3) 協会から神奈川県、横浜市に対して表彰の推薦を行った。
- (4) 会員病院が開催する市民公開講座等に対し、支援を行った。  
(9 病院)
- (5) 協会報第 59 号、第 60 号を発行した。
- (6) 協会ニュース速報を 11 回 (NO. 228~NO. 238) 発行した。

## 11 管理運営その他(法人)

- (1) 会員数 (平成 30 年 3 月 31 日現在) : 108 病院
- (2) 第 68 回定時総会を平成 29 年 6 月 28 日に開催した。  
総会においては、平成 28 年度の事業報告・決算が審議され承認された。
- (3) 理事会を 11 回開催した。
- (4) 常任理事会を 10 回開催した。
- (5) 部会等の開催  
救急医療、地域医療、教育・研修等にかかる各種部会を必要に応じ、随時開催した。  
また、看護部長部会を開催した。
- (6) 平成 29 年 7 月 3 日「医療機関における苦情の対応について」をテーマに会員向けセミナーを開催した。
- (7) 訴訟関係  
平成 27 年 3 月 6 日、神奈川健康福祉経営協同組合外 1 名から提訴された当協会を被告とする滞納金等支払請求事件については、横浜地方裁判所において、なお係争中である。